

お客様各位

2024 年 12 月

BNP パリバ・アセットマネジメント CEO

サンドロ・ピエリ

振り返ってみれば、2024 年はインフレという魔神が、瓶に戻された年となりました。また、世界中で選挙が行われ、金融市場のボラティリティが高まった年でもありました。私たちが注視している 投資における 4 つの主要なトレンド（サステナビリティ、テクノロジー、地政学、人口動態）は、マーケットと資産運用業界に影響を与え続けています。

毎年のことではありますが、私たちはお客様からお預かりしている運用資産のパフォーマンスを高めることにフォーカスし、こうした課題を乗り越えてきました。

2024 年は、BNP パリバ・アセットマネジメントにおいても、注目すべきいくつかの進展がありました。主要な進展は以下の通りです。

- 当社のマネーマーケット戦略および債券戦略のパフォーマンスは好調で、今年の運用資産はそれぞれ 15%と 14%増加<sup>※</sup>しました。
- 当社のプライベート・アセット部門では、10 種類の新しいファンド・戦略を立ち上げました。当社のプライベート・アセットの運用残高は助言も含み 400 億ユーロ<sup>※</sup>を超えています。
- 進化するお客様の ESG 選好に沿って、2024 年に革新的な 13 本の新しい上場投資信託（ETF）を設定しました。また、アクティブ ETF の分野にも参入し、当社独自の ESG リサーチを活用したアクティブ ETF も立ち上げています。



**BNP PARIBAS**  
**ASSET MANAGEMENT**

The sustainable  
investor for a  
changing world

- 「変わりゆく世界に貢献するサステナブル・インベスター」としての当社の位置付けをさらに強化するため、「不平等に取り組むロードマップ」を発表しました。これは、持続可能なグローバル経済の発展において、投資家が果たさなければならない役割に関する私たちの信念を反映したものです。また、当社はサステナブルな投資ソリューションの開発を進め、ネットゼロにフォーカスした世界株式戦略の運用も開始しています。
- 中国第 4 位の金融サービスグループである中国農業銀行（ABC）と当社との合併事業（JV）は現在、運用資産 300 億人民元（約 39 億ユーロ）※に達しており、ABC のウェルスマネジメント顧客のニーズに応えるダイナミックな成長戦略を推進しています。

そして 2025 年は、「米国経済のソフトランディング」という市場コンセンサスが試される 1 年となりそうです。政治が大きく転換し政策の不透明感が増す局面において、グローバル経済の安定性がリスクにさらされます。各国の中央銀行は、今後の経済政策の方向性も実際の影響も不透明な中で金融政策を調整するという、困難な課題に直面することになるでしょう。米国の新政権がどのような政策を選択するかによっては、景気後退リスクにさらされている欧州に加えて、不動産危機に苦しむ中国も大きな影響を受ける可能性があります。

こうした不安定で不確実な環境は、新しい投資機会を創出することを可能にしてくれるでしょう。当社の今後 1 年間の投資見通しを解説した 2025 年の投資見通し「不安定化する世界における投資機会」もご一読頂ければ幸いです。

最後に、2024 年 8 月 1 日に発表された BNP パリバグループによるアクサ・インベストメント・マネージャーズの買収に向けたアクサグループとの独占交渉に関して、重要なマイルストーンに達したことをお知らせします。この度、買収に関する契約が合意に至り、双方の署名がなされました。これは大きな前進であり、今後は、規制当局および独占禁止法に関連した認可を取得する流れとなります。この買収は 2025 年半ばまでに完了する予定で、アクサグループが保有している運用資産の管理運用についての長期の戦略的パートナーシップが含まれています。

BNPP AM の各部門を代表して、お客様やそのご関係者の皆様が素晴らしい年末年始をお過ごしされることをお祈りするとともに、2025 年も皆様とご一緒できることを楽しみにしております。

※出所：BNP パリバ・アセットマネジメント、2024 年 11 月 30 日現在

## ご留意事項

- 本資料は BNP パリバ・アセットマネジメントグループが作成した情報提供用資料を、BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社が翻訳したもので、特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、翻訳には正確性を期していますが、必ずしもその完全性を担保するものではありません。万一、原文と和訳との間に齟齬がある場合には、英語の原文が優先することをご了承下さい。
- 本資料における統計等は、信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料には専門用語や専門的な内容が含まれる可能性がある点をご留意ください。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- 本資料中の過去の実績に関する数値、図表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を示唆または保証するものではありません。
- 本資料で使用している商標等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該商標等の権利者に帰属します。
- BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社は、記載された情報の正確性及び完全性について、明示的であるか黙示的であるかを問わず、なんらの表明又は保証を行うものではなく、また、一切の責任を負いません。なお、事前の承諾なく掲載した見解、予想、資料等を複製、転用等することはお断りいたします。
- 投資した資産の価値や分配金は変動する可能性があり、投資家は投資元本を回収できない可能性があります。新興国市場、または専門的なセクター、制限されたセクターへの投資は、入手可能な情報が少なく流動性が低いため、また市場の状況（社会的、政治的、経済的状況）の変化により敏感に反応しやすいため、より不安定性があり、大きな変動を受ける可能性があります。
- 環境・社会・ガバナンス（ESG）投資に関するリスク：ESG と持続可能性を統合する際、EU 基準で共通または統一された定義やラベルがないため、ESG 目標を設定する際に資産運用会社によって異なるアプローチが取られる場合があります。これは ESG と持続可能性の基準を統合した投資戦略を比較することが困難であることを意味しており、同じ名称が用いられていても異なる測定方法に基づいている場合があるということです。保有銘柄の ESG や持続可能性に関する評価において、資産運用会社は、外部の ESG 調査会社から提供されたデータソースを活用する場合があります。ESG 投資は発展途上の分野であるため、こうしたデータソースは不完全、不正確、または利用できない場合があります。投資プロセスにおいて責任ある企業行動指針を適用することで、特定の発行体やセクターが除外される場合があります。その結果、当該指針を適用しない類似の投資戦略のパフォーマンスよりも良くなったり、悪くなったりする場合があります。

BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長（金商）第 378 号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会